

設立 35 周年記念誌  
(公益社団法人 5 周年)

“心いきいき 生涯現役”

# 銀 齢



公益社団法人町田市シルバー人材センター



会報：銀齢だより（2011 年～2015 年 各年 5 月号）

## ☆ 目 次 ☆

- ① 定時総会、役員・専門委員会委員合同会議、地域連絡会の風景・1
- ② 設立 35 周年を迎えて .....会長 山邊 司郎 2
- ③ 設立 35 周年を祝して .....町田市長 石阪 丈一 3
- ④ お客様からの声 ..... 4
- ⑤ 役員 O B からの一言 ..... 6
- ⑥ 仲間からの声 ..... 8
- ⑦ 就業風景 .....12
- ⑧ 組織図と就業のしくみ ..... 17
- ⑨ 35 年のあゆみ ..... 18
- ⑩ 会員数・就業実人数 ..... 22
- ⑪ 契約高と補助金の推移 ..... 23
- ⑫ 役員の変遷及び役員・職員紹介 .....24



（ 表紙写真：新東京百景 薬師池公園 秋 ）



1

定時総会、役員・専門委員会委員合同会議、  
地域連絡会の風景



定時総会

役員・専門委員会  
委員合同会議



地域連絡会

## 会長 山邊 司郎

公益社団法人 町田市シルバー人材センターは、平成 27 年 3 月に設立 35 周年を迎えました。このことは町田市・東京しごと財団・東京都・国のご支援と、会員の皆様・諸先輩・事務局職員の方々のご努力の賜物と厚く御礼申し上げます。

町田市シルバー人材センターは、昭和 55 年 3 月に高齢者事業団として発足し、平成 23 年 4 月にそれまでの社団法人から公益社団法人となり現在に至っております。この記念誌は、来る 40 周年記念への中間点としての位置づけであり、第 5 次中期計画とともに今後 5 年間の出発点となるものであります。

設立当初を振り返って見ますと、昭和 55 年の会員数は 955 名、契約額は 63 百万円、契約件数は 1,413 件、会費は 200 円でした。35 年を経過した現在、会員数は 3,100 名、契約額は 972 百万円、契約件数は 9,688 件、会費は 2,000 円と格段の飛躍を見せております。しかし、昨今のシルバー人材センターを取り巻く環境は、長引く経済の低迷、請負・委任契約の不適正就業の是正等に加えて事業仕分による補助金の減額など厳しい状況が続いております。

また、会員数が減少傾向にあります。その背景には定年延長、年金支給開始年齢の引き上げ、更には団塊世代の就労に対する意識の変化等々予断を許さない状況です。

このような状況が、次の 5 年間で急速に右肩上がりとなることは考えられませんが、私共シルバー人材センターの会員は一丸となってこの難局を切り抜け、活性化を図らなければなりません。安倍総理もシルバー人材センターの活性化を望むとの発言もあり、1 億総活躍担当大臣を任命して、私たちの労働力に期待が込められているように思われます。これに応えるべく基本理念の「自主・自立、共働・共助」を胸に、永年培ってきた知識・技能・経験を持った活力ある高齢者の団体として地域の活性化に向けて頑張ろうではありませんか。

医療の進歩と共に人生 50 年は、はるか昔の物語となりました。寿命は延び、人生 90 年時代とも言われております。健康で働く意欲のある高齢者が老々介護のごとく、支える側に回ることが求められています。シルバーの新事業として派遣事業、介護支援事業等が始まります。事業拡大とともに会員の増強を図らなければなりません、特に女性会員の増強が今後の課題となります。現在当センターの女性会員は 889 名、全体の 28% 程度にすぎません。女性会員の就業先は介護支援事業に限らず、家事援助等需要はますます高まってきております。どうぞ会員の皆様におかれましては、60 歳以上の市民の皆様、特に女性会員の入会促進に向けてご紹介いただきたく思います。シルバー人材センターは、仕事にボランティアにと地域社会に貢献できる団体です。

「心いきいき 生涯現役」のキャッチフレーズのごとく、いつまでも元気で、明るく、楽しく、会員の皆様のお力で地域の活性化が図れるよう切に望みます。



## 3

## 設立 35 周年を祝して

町田市長 石坂 丈一

公益社団法人 町田市シルバー人材センターが設立 35 周年を迎えられましたことを、心からお慶び申し上げます。また、会員の皆様におかれましては、日頃から市政運営に温かいご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。



貴センターにおかれましては、昭和 55 年の設立以来「自主・自立、共働・共助」の基本理念のもと、活力ある高齢社会の実現を目指し、様々な事業を展開されてきました。

これまでの歴代の役員並びに会員の皆様のご尽力に重ねて御礼申し上げます。

さて、我が国の少子高齢化は年々加速しておりますが、町田市でも、高齢化率が 25%に達しました。今後一層進展する高齢社会にあって、高齢者の方が住み慣れた地域で豊かに暮らしていくためには、生きがいや健康づくりはますます重要な課題となります。

町田市では、2012 年度～2021 年度の 10 か年を計画期間とする高齢者福祉計画を策定し、「高齢者が健康であること、生きがいをもって安心して暮らせること、住み慣れた地域で住み続けられること」を目指す姿として、さまざまな施策に取り組んでいます。

貴センターにおかれましても、引き続き高齢者の皆様が長年培ってこられた技能や豊富な知識、経験を活かした就業機会の増大をはかり、豊かな地域社会づくりにご尽力いただきたくお願い申し上げます。

結びに、貴センターのますますのご発展と会員の皆様のご健勝を心からお祈り申し上げます。お祝いの言葉といたします。



「自主・自立、共働・共助」



## 多様な業務経験を活かした就業に感謝

学校法人 桜美林学園

施設・管理部 課長 藤原 勝

私共桜美林学園は、大学、高等学校、中学校、幼稚園を設置しており、その中で一万を超える学生、生徒、園児達が様々な形態の施設、設備を学び場として共有しております。

そのため、シルバー人材センターの会員の方々には、学生の課外活動やゼミ、多くの関連団体などへの施設利用の申し込みの受け付けや、注意事項の伝達、スクールバスの乗車マナーの指導、駐輪場の整備など多岐にわたる業務に携わっていただいております。特に学生・生徒への対応は、全てが指示通りに運ぶというわけではありませんが、幅広い層の人々と接触されてきた多様な業務経験を活かし、その都度、相手の理解度を測りつつ、言葉を選んで良き話し相手として対応してくださっています。また、バスの停車場、駐輪場などにおきましては、真夏の照りつける陽射しの下、あるいは手足も凍える大雪の中、黙々と作業に励んでくださっている姿には、日々頭の下がる思いであります。

これからも、本学の建学の精神に基づく、国際的視野を持つ、隣人愛にあふれた人材を育成するため、数多くの業績を積まれたシルバー人材センターの皆様の一層のご支援をいただけますようお願いいたします。



## 会員さんの気持ちを支援に繋げていきます



社会福祉法人 地の星「タピオラ」店長 五木田 幸志

当法人は、知的ハンディがある方が利用している施設です。日々の暮らしで、私達にとっては当たり前のことでもハンディがあることで困難が生じ支援を必要とされる方が多くいます。シルバー人材センター会員の方々とのご縁は、利用者の方が安心して通うことが出来るように、送迎添乗員をお願いしたのが始まりでした。

今では、グループホームの家事援助を含め 11 名の方をお願いしています。

初めは「私に出来るかしら？」と思っていた方も、ハンディを一つの個性と理解していただき、すぐに距離も近くなり「ここに来ていると楽しいのよ」との一言がすごくうれしかったことを覚えています。

私達もその思いを胸に、これからも多方面でご活躍される会員の皆様と、一緒に歩んでいけるよう努めていきたいと思っています。



## F C町田ゼルビア 悲願の「J2 復帰!!」

株式会社 ゼルビア代表取締役 下川 浩之

設立 35 周年、誠におめでとうございます。

ホームゲーム開催時には、会員の皆様にボランティアという形でご支援いただき、心より感謝申し上げます。

チケットもぎりや、駐車場誘導、プログラム配布等、皆様の積極的な活動と笑顔に、いつも元気をいただいております。皆様は、F C町田ゼルビアのクラブの一員・仲間です。おかげさまで 12 月 6 日には悲願の J2 復帰

を果たすことができました。今後もぜひ、一緒に戦っていただければ幸いです。

現在、会員も約 3,000 名を超え都内では 4 番目、多摩地域では 1 番大きいセンターと伺っております。これも日頃の皆様の素晴らしい活動の結果の賜物だと存じ、私共も皆様のように、大きくなっていくのと同時に、町田市民の誇りとなるような存在になっていければと考えております。

町田市シルバー人材センター様の今後の更なる発展とご活躍、また F C町田ゼルビアとの末永いお付き合いを心よりご祈念申し上げます。



## 仲間の和を大切に生涯現役で



眞角 喜久子

公益社団法人 町田市シルバー人材センター設立 35 周年  
おめでとうございます。

私は、第二の人生の活動の場としてシルバー人材センターに入会し、家事援助の仕事から始まり、班長、理事の役を経て、最終は会長として微力ながら努力いたしました。

会長在任中は、会員の皆様、役員、職員の方々のご支援ご協力で無事大任を果たすことができましたことを、改めて感謝と御礼を申し上げます。ありがとうございました。

会長在任中の2年間に、公益社団法人として大改革を余儀なくされましたが、役員、職員の方々が研修に研修を重ね現在の体制になりました。

また、新体制の中シルバー人材センターが30周年を迎えましたが、記念行事をどの様に行うかということも大変で、公益社団法人として許される範囲内で盛大に行いました。

記念行事の関連事業として、地域に貢献するボランティア活動の「駅前清掃」が立ち上げられ、多くの会員の皆様のご協力を得て実行されました。

この活動は現在も継続されています。

これも一重に会員の皆様の温かいご支援の表れだと思います。

今後、シルバー人材センターが目指す姿は、これまで以上に地域に根差した地域と一体化した事業が必要かと思います。また、一般業者ともうまく共存しながら、シルバー人材センター独自の親切、丁寧、安心をモットーに地域に貢献することが重要です。

これからも予想されることは、会員の減少や高齢化の進展、未就業者の増加です。仕事の選り好みをせず、どんな仕事でもやってみる心構えと、ボランティア活動に参加し、シルバー人材センターの発展に協力することが必要だと思います。シルバー人材センターの会員になったからにはやる気を出し仲間との和を大切に、生涯現役で明るく笑顔で楽しい人生を送っていただきたいと思います。

皆々様のご健康とご多幸をお祈りいたします。

早や35周年！ “光陰矢の如し”

祝 設立 35 周年



## シルバー人材センターへの期待

齋藤 實

40 年前、大河内先生がつくられたシルバー人材センターの存在価値は、ますます高まっています。それは日本の少子高齢化がますます進んできたからです。

働き手が減り、高齢者が増える状態を予測し、シルバー人材センターという組織をつくった大河内先生の慧眼に改めて敬意を表するものです。



町田市シルバー人材センターも 35 周年を迎え、ますますその存在価値を高めています。それは高齢者が働かないと日本の GDP（国内総生産）が伸びないからです。いよいよ高齢者の出番です。折しも安倍総理が言い出した 1 億総活躍の時代です。高齢者も女性も活躍しないと日本の GDP が伸びないのです。

GDP 600 兆円に向けて、少しでもお役に立ちましょう。

シルバー人材センターのメリットは、3 つあると思います。

1 つ目は、GDP への貢献です。我々が働くことによって GDP に貢献しているのです。

2 つ目は、社会保険料への貢献です。我々会員は、一般の高齢者に比べ医療費が少ないのです。又、介護保険料も使っておりません。生活保護も受けておりません。このように我々は、社会保険に貢献しているのです。これは健康で働いているからです。

3 つ目は、仲間づくりです。高齢者同士が集い、語らい、踊り、唄うことなどでの仲間づくりを通じ生き甲斐を持てるのは、生涯現役を目指す我々シルバー人材センターのメリットであります。

少子高齢化が世界で一番進んでいる日本の対策を、世界が見ています。

ドイツ、中国、韓国等日本と同じように高齢化が進む各国が注視しています。

しかし、日本にはシルバー人材センターがあります。これは幸せなことだと思っています。シルバー人材センターの皆様が、働くことにより日本の少子高齢化が克服されることを信じています。

シルバー人材センターが、今後ますます発展し、40 年後、50 年後も盤石であることを祈っております。

祝 設立 35 周年

## 6

## 仲間からの声

## 教えることに生きがいを感じる

外山 茂

パソコン講座に在籍して4年が経ちます。

シルバー人材センターのパソコン講座は、ご年配の方々に指先、手、脳を少し使っていただき、毎日元気に過ごすきっかけになっていただければと思い、優しい講座、楽しいパソコン講座をモットーに、インターネット検索が家庭でも簡単に出来るようにご指導いたしております。



パソコン講習は独自事業のため、受講生が少ない時はボランティアになるケースも多々ありますが、働けること、身体を動かせることに感謝して講師助手の仕事をしています。80歳を過ぎてパソコンを触る方が何人もいらっしゃいます。月に1回の無料体験講座も用意しております。ご年配の方々は、特に表に出ることが大切です。どうぞお越しください。お待ちしております。

## 地域に喜ばれる除草作業

大森 英男

シルバー人材センター入会時に「除草」を希望し除草班に入りました。

現在、南地区の除草班9人のリーダーをまかされ、家庭、企業、公共等の除草を行っています。除草関係で多くの人達と出会い、交流を深めることができ、シルバーに入って本当によかったと思っています。作業中は「安全第一」に徹し、体調に変化はないか注意しながら行っています。除草の下見、見積等で依頼主である多くのお客様と接し話をします。シルバーに依頼したのが初めてと言うお客様から「“シルバーさんの除草はキレイに行く”と評判がいいですよ」と言われました。



除草班の会員が「除草」という地道な作業を行ってきた結果、地域の皆様に評価され、又、シルバーという知名度も「クチコミ」で広がっていることを感じました。

今後も各班と連携して「安全第一」に徹し、地域の皆様に評価されるような仕事を行っていきます。

## 「長寿社会」の生きがい

石川 信司

町田市から「認知症サポーター養成講座」の推薦を受諾して 7 年、昼夜を問わずどこへでも出前講座に出掛けていきます。

認知症予防のための「町田市介護予防サポーター」の資格も取得して「わくわくカレッジ講座」の中で市民の皆様に健康づくり・仲間づくりの楽しさと“高齢者の社会参加の効用”をお伝えしています。



これからの活動は、私自身にとって未知な分野へのチャレンジであり、いつも学ぶことを続けています。

このような機会を与えて下さったシルバー人材センターの関係者の皆様に、深く感謝申し上げます。

おかげさまで「長寿社会」の生きがいを発見できました。

## 古着物再生の「小物作り」

齋藤 晴美

会社を定年で退職した後は、今までできなかったことをしようと思い楽しみにしていたのですが、いざ時間があったとしても何をしたかったのかと思うようになり、シルバー人材センターに入会することにしました。

同好会の手仕事を楽しんでいました。

そんな時に、古着物を再生して作る「小物作り」という仕事を、女性就業推進委員の方々が立ち上げてくださり仲間に入れていただきました。

その後、試行錯誤を繰り返し、事務局他皆様のお力添えで三年を経過し、現在は市役所、市民ホール、ポプリホール、ほかにて作品の販売をすることができる迄となり、会員も洋裁、編物、小物と三部門で 30 余名と増えました。



皆さん昔とった杵柄を活かし、さまざまな作品を作っています。

これからも多勢の方々に使っていただけるように、創意と工夫を重ね、作品作りに励んでいきたいと思っています。





## 働けるということへの喜び

山田 かつ江

何かをするということに興味や意欲が湧かず、空しく過ごしておりましたが、シルバー人材センターの存在を知り早速入会。すぐに見守り業務の「まちとも」に従事させていただきました。

あっという間に5年が過ぎ、年齢の重なっていくのを忘れるような思いです。小さな体に大きなランドセルの低学年

高学年生。途中で出会うと「おばあちゃん！」と声を掛けてくれたり、遠くから手を振ってくれる生徒さん達。遊んで上げているのか、遊んでもらっているのか？なんて思いながら癒されています。

高齢者となった今、このような機会を与えてくださったシルバー人材センターに感謝をしながら、これからも「まちとも」を生き甲斐として健康に心掛けて励んでいきたいと願っています。



## 葬祭事業で就業する心構え

大貫 浩司

シルバー人材センターの会員として、葬祭事業に就業するに当たり、制度の位置づけを念頭に業務に携わっています。町田市の条例に「町田市葬具使用条例」があり、その規定により市から委託されているからです。

葬儀を初めて行う方が多いため、言葉の使い方や葬儀の流れについて、一つひとつ丁寧に順序を踏まえて説明をしています。即ち、葬家が十分理解されるよう受付業務に心がけています。

平成21年6月に南多摩斎場の一部改修にともない式場が増設されました。

また、葬儀受注件数が減少傾向にあるため、広報活動に知恵を絞る必要があると考えています。

この葬祭事業は、市民の福祉施策として制度化されている趣旨から、市の「福祉の目玉事業」という認識のもとに、市民のため会員の立場を越えて「みなし公務員」という心構えで引き続き頑張っていく所存です。



## シルバー人材センターに寄せる一言

泉 正勝

私は、リサイクルショップで、粗大ゴミの再生販売の事業に携わって足かけ6年になります。最初はただ「推薦されたから行ってみるかな」という程度の気持ちでした。

しかし今は、こんなに難しく楽しい仕事はなかなか無いのではと思っています。

粗大ゴミ再生というのは、100%の正解がないのです。

いろいろな状態が入ってくる品物を、「どうすれば今ある環境の中で修理再生ができるかを、試行錯誤を重ねながら完成度の高い商品に仕上げていく」こんなに面白い仕事はなかなか無いのではと思っています。



特に良いことは、納期のストレスが無いこと。一日中働いているので運動が一緒にできること。又、仲間同士大きな声で談笑できること。このような素晴らしい環境は、願ってもなかなかできるものでは無いのではと思います。

会員皆、休み時間も忘れ仕事に没頭することがたびたびです。この様な環境を与えていただき有り難うございます。



## 植木班の成長を誇りに思う

石井 金彦

第二の人生は、庭師の仕事に身を転じ、平成11年暮れにシルバー人材センターに入会しました。

当時、植木班の会員は60名。現在140名。顧客数3,000件です。植木班は、シルバー人材センター発展と共に成長してきました。この様な組織拡充には理事会、事務局、コーディネートスタッフによる人材育成強化策がありました。平成15年より国の施策に基づくシニアワークプログラム。20年からはシルバー人材センター独自の自主的教育システム「植木



剪定技能講習会」により現在籍の大半の植木職が育ちました。

この間育成指導に携わってきた一人として、会員は厳しい職場環境下、学習、経験を積み立派に成長し市民の要望に応えている現実の姿を目にするにつけ、まさしく「自主・自立、共働・共助」のスローガンを具現しているのでは、と誇らしく思い、次の課題に挑戦していきたいと思っています。





# 7

## 就業風景 1

～地域・家庭の仕事～



植木の手入れ、庭の除草



エアコン・換気扇清掃



襖・障子・網戸・クロスの張替え



刃物研ぎ



出張着付

家事援助



パソコン教室・個人指導



# 就業風景<sup>2</sup>

～公共・企業・団体の仕事～

(ボランティア活動含む)



駐車場管理



駐輪場管理



卒業証書・宛名などの筆耕



ラベル貼り・封入  
等の室内作業

民間交番  
(セーフティボックス)



乗降介助



施設受付  
事務管理



# 就業風景<sup>3</sup>

～公共・企業・団体の仕事～

(ボランティア活動含む)



ごみ袋  
配付、  
交換



植木  
剪定



公園  
除草



学校支援  
(昔遊び、折紙教室等)



まちとも  
(放課後遊び場見守り)



お囃子 (シルバー連まちだによる  
幼稚園・自治会等への出張サービス)

夢舞シルバー100 チーム

(施設等イベント出張サービス)





# 就業風景<sub>4</sub>

～その他の仕事～



洋裁リフォーム  
編み物  
小物ショップ



リサイクルショップ

ボール体操教室地域自主化



喫茶室(どんぐり)、牛乳パック再利用  
手漉き紙製品作り



葬祭事業



サンタさん等のモデル事業



# 就業風景 5

～ボランティア活動～

J2 ゼルビアサッカーチーム  
のサポートボランティア



駅周辺各地域美化清掃



防犯パトロール



日赤奉仕団献血ルームお手伝い

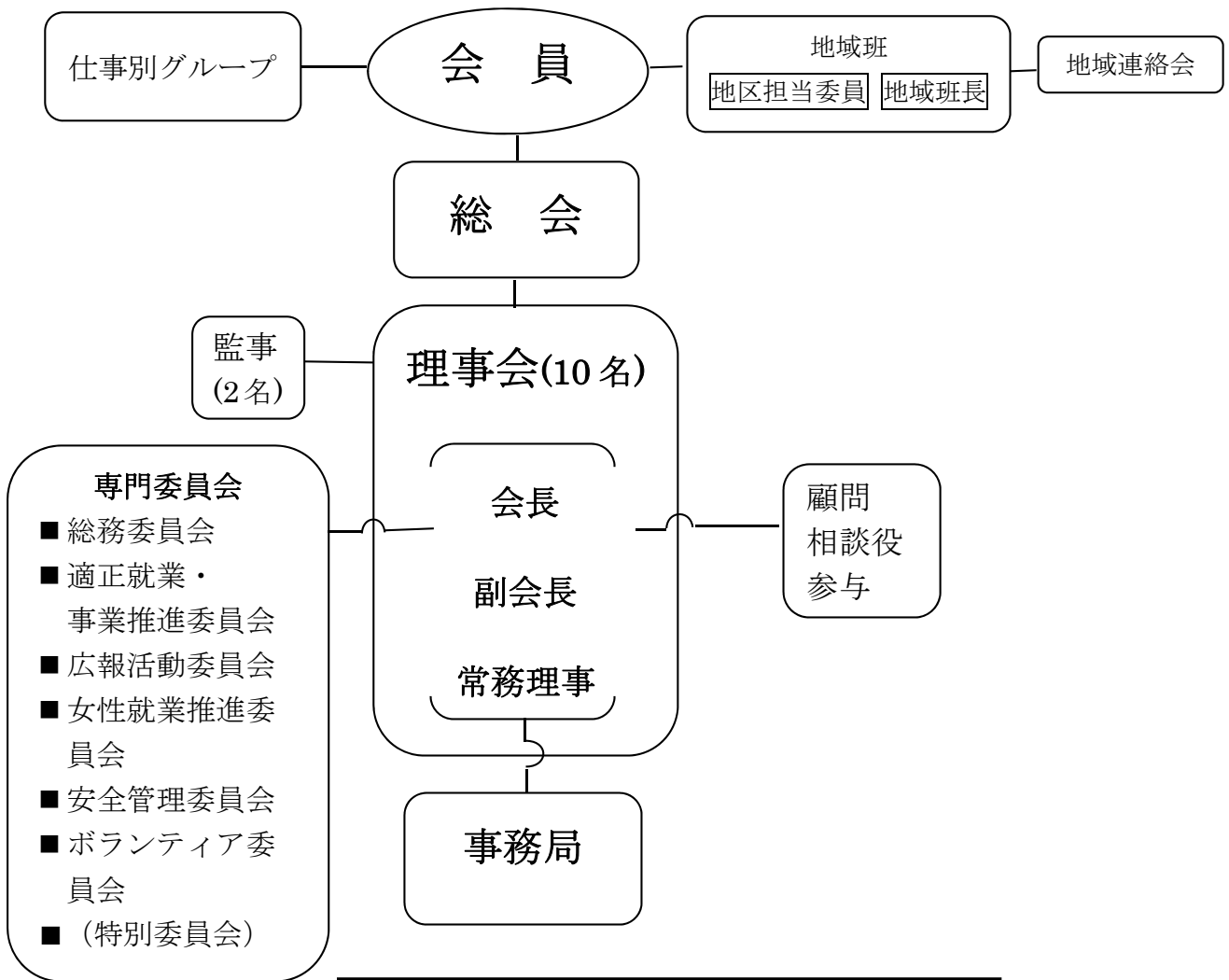


市庁舎花畑ボランティア

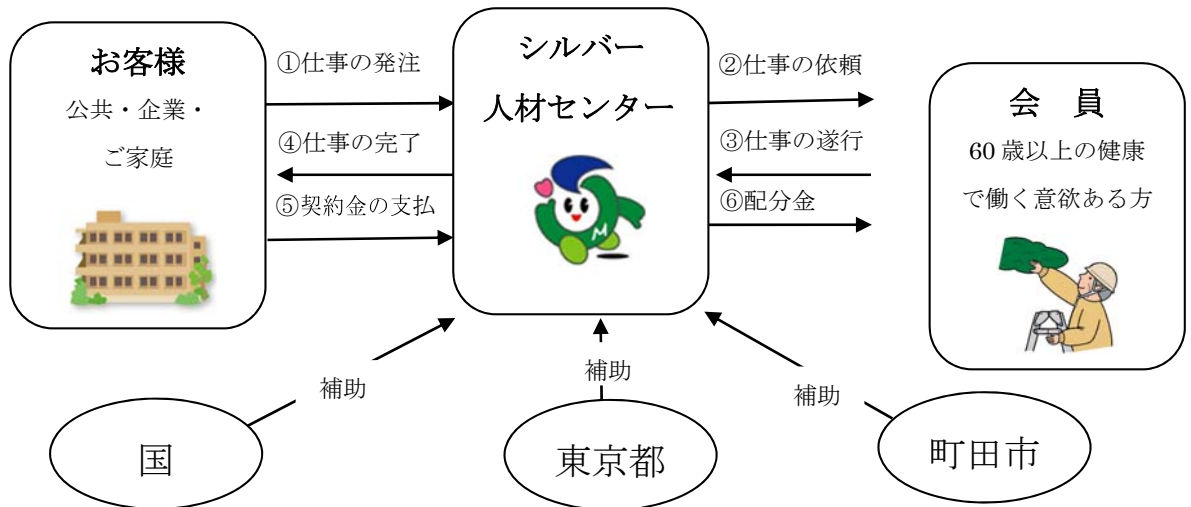


チューリップボランティア

組 織 図



仕事の受発注契約（請負・委任）のしくみ



\* シルバー人材センターの派遣事業は別途となります。





## 35年のあゆみ

年 度	月 日	行 事
昭和 54年	(1979)	
55年	3 月 6 日	町田市高齢者事業団設立 場所 商工会議所2階
	3 月 6 日	町田市高齢者事業団設立総会開催
昭和 55年	(1980)	
	5 月 1 日	事務所を原町田 3-3 より森野1-1-15 (旧 国鉄宿舎)に移転
	5 月 22 日	定期総会開催(町田市立体育館)
	12 月 1 日	東京都知事より社団法人設立許可民法第34条の公益法人となる
56年	1 月 16 日	会報「銀齢だより」 第1号を発行
	3 月 12 日	定期総会開催(市民ホール)
昭和 56年	(1981)	
	9 月 25 日	定期総会開催(市民ホール)
	10月～	東京都モデル事業家庭奉仕派遣事業受託
	11月29日	町田市社協会館にて「1,000名の祭典(作品展示会)」開催(参加約2,600名)
57年	3 月 25 日	定期総会開催(市民ホール)
昭和 57年	(1982)	
	6 月 9 日	全国シルバー人材センター協議会設立、交流大会に参加
	9 月 25 日	定期総会開催(忠生市民センター)
58年	2 月 17 日	会員研修旅行(宿泊・伊東温泉 参加者 74名)
	3 月 15 日	定期総会開催(木曽・山崎市民センター)
昭和 58年	(1983)	
	4月～	町田市高齢者(児)障がい者在宅ホームヘルプサービス事業受託
	6 月 15 日	「女性懇親会」開催(すみれ会館) 出席者52名
	9 月 28 日	定期総会開催(南農協会館)
59年	3 月 16 日	定期総会開催(忠生市民センター)
昭和 59年	(1984)	
	7 月 3 日	設立5周年記念行事 ～7日
	9 月 27 日	定期総会開催(リサイクル文化センター)
60年	3 月 20 日	定期総会開催(南農協会館)
昭和 60年	(1985)	
	9 月 30 日	定期総会開催(木曽・山崎センター)
61年	2 月 4 日	会員研修旅行(調布植物公園・府中ランド 62名参加)
	3 月 19 日	定期総会開催(鶴川市民センター)
	3 月 28 日	第1回安全研修会(市民ホール)
昭和 61年	(1986)	
	4 月 1 日	安全管理委員会規定等の規定施行
	7 月 2 日	「婦人の集い」開催(市民ホール 92名 参加)
	9 月 3 日	定期総会開催(堺市民センター)
	11月9日	第1回「室内レクリエーション」開催
62年	3 月 3 日	定期総会開催(木曽・山崎センター)
昭和 62年	(1987)	
	9 月 28 日	定期総会開催(南市民センター)
63年	2 月 3 日	町田市制施行30周年記念刊行物全戸配布 ～2月13日 (配布部数 110,052 就業実人数 410名)
	3 月 3 日	定期総会開催(市立国際版画美術館)
昭和 63年	(1988)	
	5 月 26 日	理事による企業訪問 ～7月13日
	6 月 13 日	市内の委託先19カ所に「事業団連絡所」看板取付け
	9 月 28 日	定期総会開催(忠生市民センター)
元年	3 月 3 日	定期総会開催(鶴川市民センター)
平成 元年	(1989)	
	6 月 1 日	牛乳パック再利用事業開始



# 35年のあゆみ

年 度	月 日	行 事
平成 元年	8 月 18 日	設立10周年記念行事(町田市公民館)
	9 月 27 日	定期総会開催(成瀬センター)、平成2年3月2日 定期総会開催(木曽・山崎センター)
	12 月 11 日	市の刊行物(私の便利帖他)全戸配布(配布部数 118,150 就業実人員 380名)
	2年 3 月 20 日	町田市長に名誉会長委嘱(初代 寺田 和雄氏)
平成 2年	(1990)	
	6 月 23 日	設立 10 周年記念行事
	7 月 2 日	社団法人 町田市シルバー人材センターに名称変更、 東京都知事認可
	9 月 28 日	定期総会開催(第一生命町田ホール)
平成 3年	3 月 1 日	定期総会開催(健康福社会館)
平成 3年	(1991)	
	9 月 26 日	定期総会開催(健康福社会館)
平成 4年	3 月 4 日	定期総会開催(健康福社会館)
平成 4年	(1992)	
	4 月 26 日	事務所を中町4丁目10-13 に移転(森野の建物 改築のため)
	9 月 30 日	定期総会開催(健康福社会館)
	10 月 22 日	(社)全国シルバー人材センター協議会記念式典
平成 5年	3 月 4 日	定期総会開催(健康福社会館)
平成 5年	(1993)	
	9 月 4 日	鶴川連絡所(鶴川さるびあ会館)開所
	9 月 30 日	定期総会開催(健康福社会館)
	11 月 1 日	事務所を森野 1 丁目 1-15 (わくわくプラザ町田)に移転
平成 6年	3 月 4 日	定期総会開催(健康福社会館)
平成 6年	(1994)	
	9 月 29 日	定期総会開催(市民ホール)
平成 7年	1 月 22 日	お囃子同好会(シルバー連まちだ)10名で発足
	3 月 4 日	定期総会開催(市立第一小学校体育館)
平成 7年	(1995)	
	4 月 1 日	わくわくプラザ町田 ディサービス事業開始(鶴川老人福祉センターに次いで2ヶ所目)
	7 月 1 日	シルバーカレッジ開講(襖・障子張り、俳句、デイサービスなど)～10月6日
	8 月 27 日	広報活動(パレード、わいわい祭りなど)
	9 月 28 日	定期総会開催(市民ホール) 11月4日 室内レクリエーション (市総合体育館)
	8年 3 月 1 日	定期総会開催(市民ホール)
平成 8年	(1996)	
	9 月 27 日	定期総会開催(市民ホール)
平成 9年	3 月 8 日	広報活動(小山センター祭り、さくら祭り、わいわい祭りなど)
	3 月 13 日	定期総会開催(市民ホール)
平成 9年	(1997)	
	4 月 1 日	小山市民センターディサービス開始
	9 月 26 日	定期総会開催(市民ホール)
	10年 3 月 1 日	定期総会開催(市民ホール)
平成 10年	(1998)	
	4 月 4 日	広報活動(町田さくら祭り、わいわい祭り、栄通りパレードなど)
	9 月 25 日	定期総会開催(市民ホール)
	11 月 7 日	会員と家族の室内レクリエーション(成瀬体育館) 11月21日 健康ハイキング
平成 11年	3 月 2 日	定期総会開催(市民ホール)
平成 11年	(1999)	
	9 月 28 日	定期総会開催(市民ホール)
	10 月 16 日	室内レクリエーション (成瀬体育館) 10月30日 健康ハイキング(こどもの国)
	12年 3 月 3 日	定期総会開催(市民ホール)
平成 12年	(2000)	
	7 月 22 日	設立20周年記念式典(市民ホール)、9月7日「設立20周年記念誌銀齡」発行
	9 月 1 日	東京都シルバーパス発送事業開始
	9 月 28 日	定期総会開催(市民ホール)
	10 月 1 日	会員共助会設立
	13年 3 月 1 日	高齢者調髪利用権発行事務開始

# 35年のあゆみ

年 度	月 日	行 事
平成 13年	(2001)	
	3 月 2 日	定期総会開催(市民ホール)
平成 13年	5 月 1 日	行政からの大型受託事業「公園除草」開始 刃物研ぎ、エアコン洗浄事業も開始 市民大学 講師派遣事業開始
	9 月 28 日	定期総会開催(サン町田旭体育館)
14年	2 月 24 日	町田市長選挙 投・開票作業
	3 月 1 日	定期総会開催(サン町田旭体育館)
平成 14年	(2002)	
	4月～	デイ-銭湯サービス市内6か所で開始
	11月23日	さるびあ会館(鶴川事務所)10周年記念祭
	5 月 31 日	定期総会開催(サン町田旭体育館)
15年	3 月 6 日	定期総会開催(市民ホール)
平成 15年	(2003)	
	5 月 30 日	定期総会開催(市民ホール)
	7 月 14 日	境川仮作業所から緑ヶ丘作業所移転(公園除草、襖作業など)
	10月18日	第15回室内レクリエーション (サン町田旭体育館)
	11 月 9 日	衆議院議員選挙 投・開票作業
16年	3 月 4 日	定期総会開催(市民ホール)
平成 16年	(2004)	
	5 月 28 日	定期総会開催(市民ホール)
	6 月 10 日	NHK-TV 町田の公営葬祭事業を放映 全国的に反響多し
	7 月 11 日	参議院議員選挙 投・開票事務
	10 月 3 日	第16回室内レクリエーション (サン町田旭体育館) 10月23日 健康ハイキング
	11 月 6 日	「セーフティボックス」民間交番開所、センター会員が就業
17年	3 月 4 日	定期総会開催(市民ホール)
平成 17年	(2005)	
	5 月 30 日	定期総会開催(市民ホール)
	7 月 3 日	都議会議員選挙 投・開票作業
	7 月 17 日	広報活動(図師熊野神社、原宿よさこい祭り、栄通りパレードなど) ～11月26日
18年	2 月 26 日	町田市議・市長選挙 投・開票作業
	3 月 2 日	定期総会開催(市民ホール)
平成 18年	(2006)	
	4 月 9 日	広報活動(桜まつり、原宿よさこい祭り、栄通りパレード、山崎団地祭りなど)～10月21日
	5 月 29 日	定期総会開催(市民ホール)
	10月10日	全国経験交流大会
19年	2 月 16 日	研修会(植木グループ、送迎グループ、学校管理グループなど)
	3 月 6 日	定期総会開催(市民ホール)
	3 月 25 日	広報活動 (鶴川団地祭り、森野わくわく祭り、栄通りパレードなど)
平成 19年	(2007)	
	4月～	ごみ袋無料配付プロジェクト受託
	4 月 8 日	東京都知事選挙・東京都議会議員補欠選挙 投・開票作業
	5 月 28 日	定期総会開催(市民ホール)
20年	1 月 15 日	全会員研修 1月:6回、2月:5回、10月:4回、11月:4回
	3 月 19 日	定期総会開催(市民ホール)
	3 月 29 日	広報活動(さくら祭り、健康ハイキングなど)
平成 20年	(2008)	
	5 月 18 日	定期総会開催(市民ホール)
	6 月 1 日	行政からの大型受託事業「ごみ袋配付」業務開始
	7 月 17 日	全会員研修 7月:8回
	9 月 12 日	東京都公益法人制度説明会
21年	1 月 5 日	ホームページリニューアル
	2 月 10 日	研修会「植木グループ安全、技能研修」「新任安全管理研修(財団)」 家具転倒防止講習会(府中)
	2 月 28 日	広報活動(小山市民センターまつり 紙漉き・喫茶、尾根さくら祭りなど)
	3 月 30 日	定期総会開催(市民ホール)

# 35年のあゆみ

年 度	月 日	行 事
平成 21年	(2009)	
	4 月 1 日	会費自動引き落とし制度開始
	5 月 1 日	「認知症サポート養成講座」業務開始
	5 月 29 日	定期総会開催(市民ホール)
	6 月 25 日	FC町田ゼルビアと連携に関する包括協定締結
	7 月 1 日	こどもあそび場見守り事業開始
	7 月 12 日	都議会議員選挙 投・開票作業
	8 月 30 日	衆議院議員選挙 投・開票作業
22年	2 月 21 日	市長・市議会議員選挙 投・開票作業
	3 月 19 日	「認知症サポーター報告会」、「健康フェア」
	3 月 24 日	定期総会開催(市民ホール)
平成 22年	(2010)	
	5 月 27 日	定期総会開催(市民ホール) 定款変更「社団法人→公益社団法人」承認
	6 月 4 日	30周年記念誌委員会スタート
	10月 11 日	駅周辺美化清掃ボランティア活動
	10月 16 日	臨時総会 30周年記念式典(市民ホール)
	11 月 9 日	チューリップ球根植付け こうさぎ保育園、大蔵保育園、山崎保育園、森野保育園、町田保育園、金森保育園、本町田保育園
	11 月 12 日	共助会設立10周年記念式典(市民フォーラム)
23年	3 月 2 日	定期総会開催(市民ホール)
平成 23年	(2011)	
	4 月 1 日	本会計年度から、公益社団法人となる 2次予防事業 生きる力アップ教室開始
	6 月 17 日	定時総会開催(市民ホール) ※今年度から総会は年1回となる
	10月 15 日	駅周辺美化清掃活動始まる
	11月 25 日	仕事別リーダー研修会、12月(15日、19日、21日)
平成 24年	(2012)	
	6 月 22 日	定時総会開催(市民ホール)
	10 月 9 日	仕事別グループ接遇研修(9日、15日、16日) 1月(19日、27日、30日)
	12月 16 日	都知事選挙、衆議院議員選挙 投・開票作業
25年	2 月 3 日	講習会(転倒予防会、植木班リーダー)
	3 月 11 日	シルバー交流祭り
平成 25年	(2013)	
	4 月 1 日	一人一紹介運動 スタート
	6 月 19 日	定時総会開催(市民ホール)
	7 月 21 日	参議院議員選挙 投・開票作業
	11 月 1 日	シルバー人材センター連絡事務所の看板を約70ヶ所に設置
	11月 21 日	認知症サポーター養成講座
26年	2 月 23 日	市議会議員・市長選挙 投・開票作業
平成 26年	(2014)	
	6 月 19 日	定時総会開催(市民ホール)
	9 月 2 日	広報活動(栄通りまつり、町田エコフェスタ、キッスイ祭りなど)
27年	1 月 20 日	PRチラシ全戸配布説明会
	2 月 13 日	ユーザー車検取得制度講習会
	3 月 3 日	シルバー交流まつり
平成 27年	(2015)	
	6 月 18 日	定時総会開催(市民ホール)
	8 月 6 日	第五次中期計画策定委員会発足
	9 月 6 日	広報活動(栄通りまつり、町田エコフェスタ、キッスイ祭りなど)
	10月 10 日	駅周辺美化清掃活動
	11月 10 日	35周年記念誌編集委員会スタート
28年	1 月 4 日	市役所で35周年記念イベント開催～8日



25年前の事務所



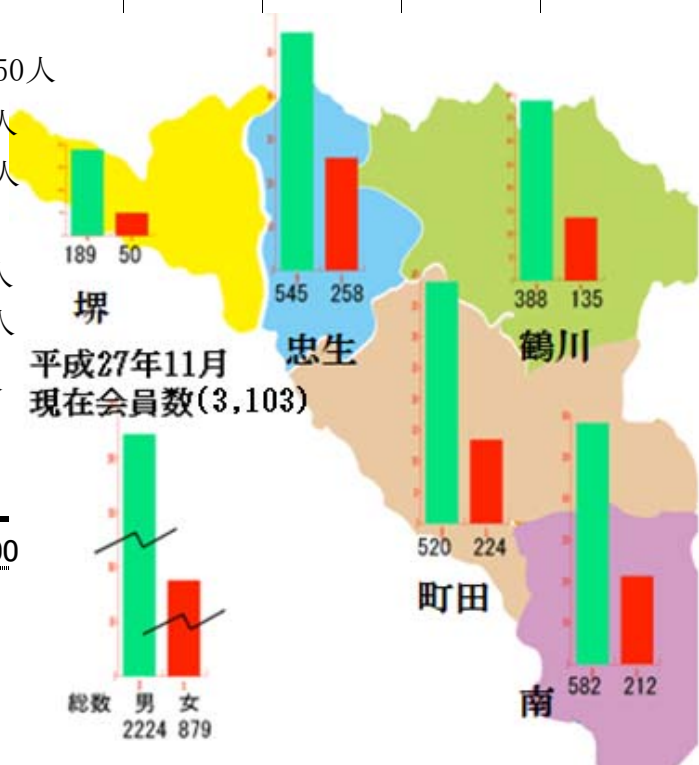
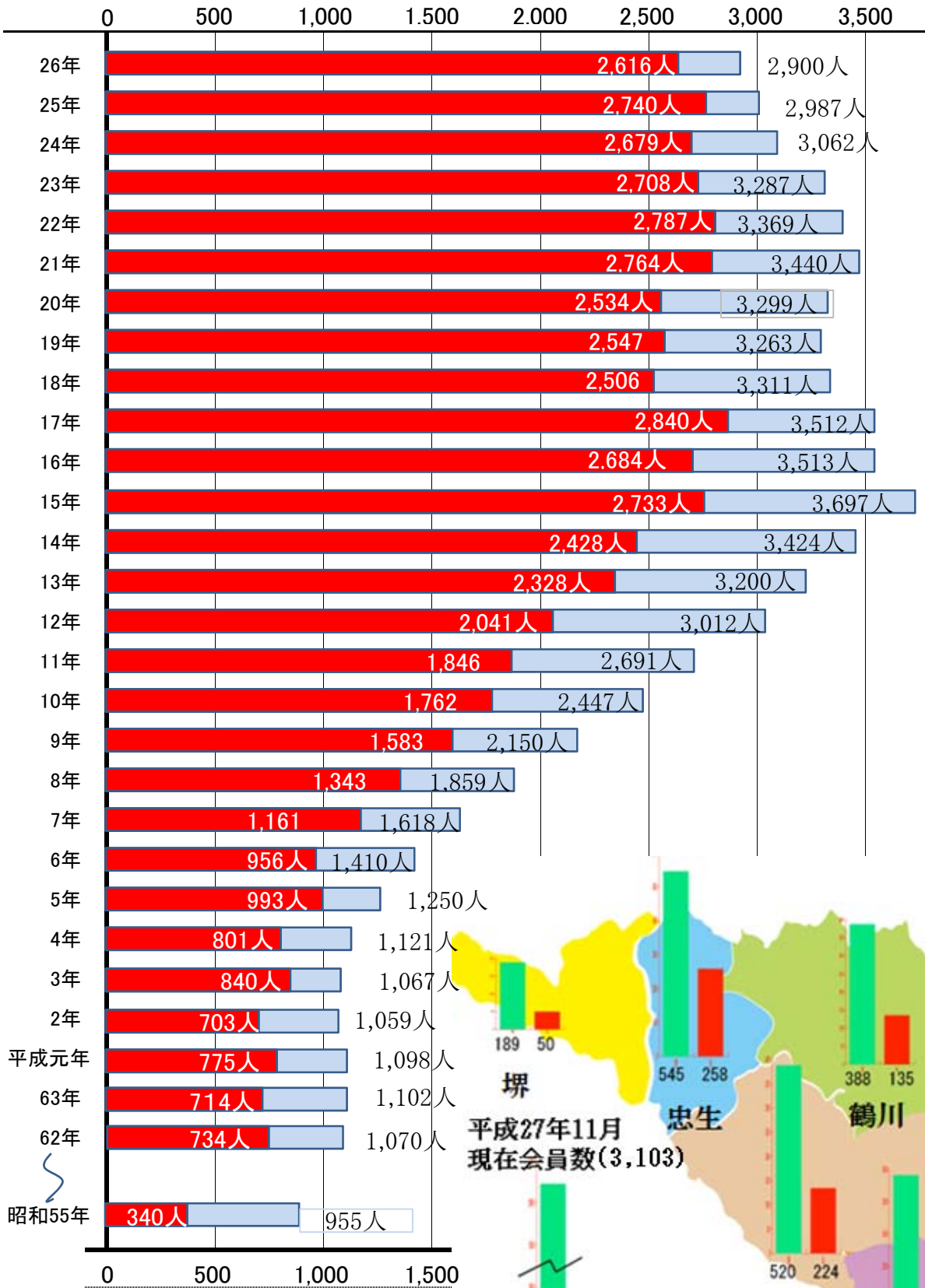
現在の事務所





## 会員数・就業実人数

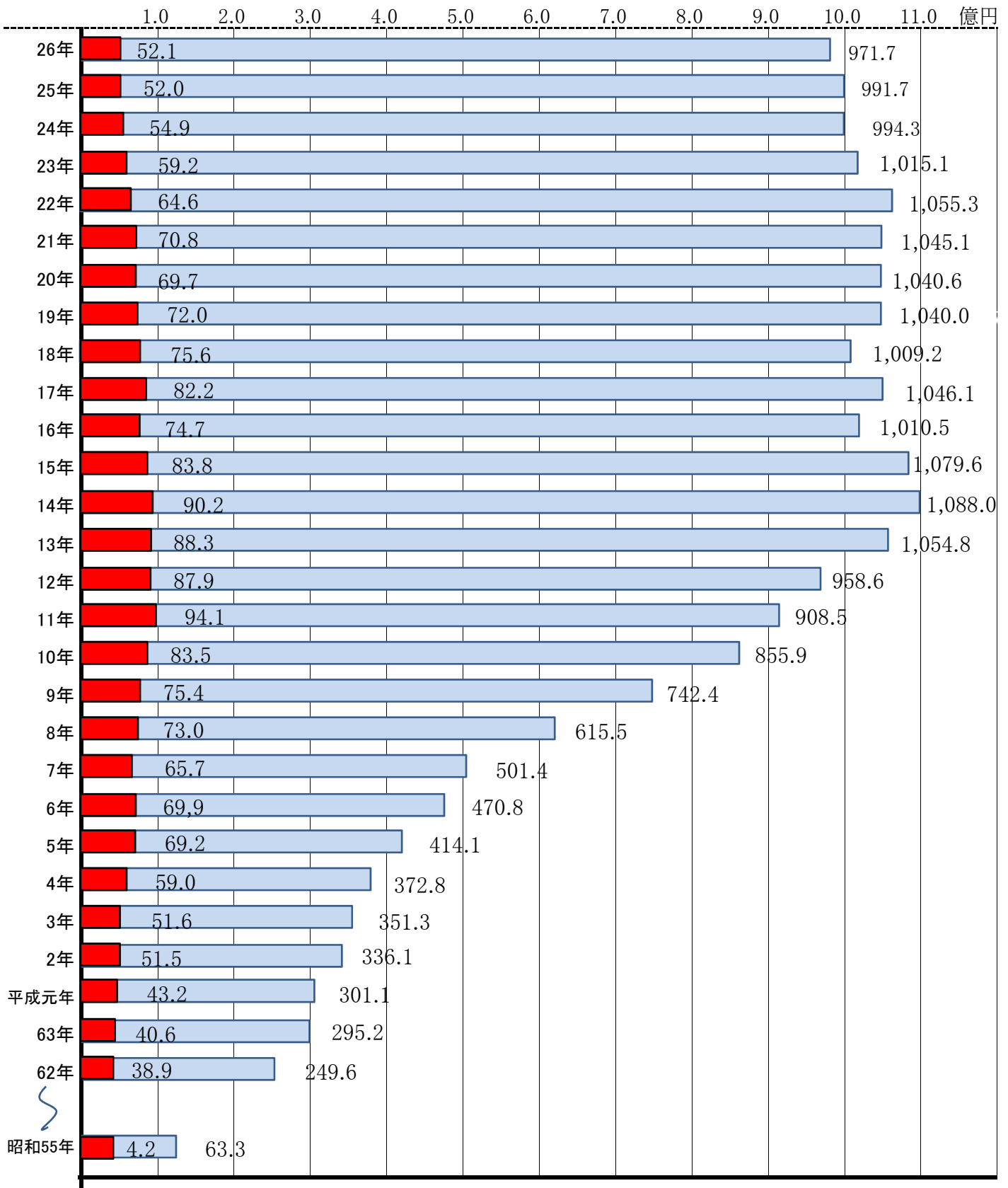
会員数 (人)  
就業実人数(人)



## 契約高と補助金の推移

契約高(百万円)

補助金(百万円)



年度 役員	S56	S57	S58	S59	S60	S61	S62	S63	H1	H2	H3	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22
名誉会長	大下 勝正										寺田 和雄										石阪 丈一									
会 長	小野寺克己					林 清美												笠原 邦雄					眞角喜久子							
副会長	五味英明		飯尾 絢子		大志万むつ		江瀬 秀子										前 孝子 武田太郎		間島 一也 眞角喜久子		古屋和彦 置田幸子									
常務理事	林 清美		中嶋万喜		柳川幸二		武田 太郎										島野 宏		岡部 優		矢内 邦夫									
監 事	齊藤 藤	近藤 延子					島田正道		宮下 恒					宮下恒一		甲斐知喜		滝田 次郎												
	柳川 幸二		溝井寿男		柳川幸二		永島 栄良					甲斐 知喜					浅石 巖		由井 友二			田島 昭治								

## 役員の変遷(公益社団法人時代)

年度 役員	H23	H24	H25	H26	H27
名誉会長	石阪 丈一				
会 長	齋藤 實			山邊司郎	
副 会 長	古屋和彦		山邊司郎		長谷川修治
常務理事	矢内	宗村 博			西原教子
監 事	齋藤 敬				
	田島 昭治			木村將人	
理 事	長谷川 修治			佐藤五一	
	都築 元郎	小林 正宏			
	松岡 武夫	中里 大夫			
	吉澤 弘一			大友征弘	
	小泉 光子			細谷理恵子	
	山邊司郎		大村 新吾		
	堀場 淳	西原 教子		水嶋 康信	
	(市高齢者福祉課長)				

※役員任期は、平成23年度までは4月、24年度以降は総会開催時の6月が起点。



役員 前後列左より(敬称略)

木村將人 大村新吾 佐藤五一 中里大夫 細谷理恵子 大友征弘  
小林正宏 長谷川修治 山邊司郎 西原教子 水嶋康信



職員 前後列左より(敬称略)

伊藤正信 笹本 淳 堀 恵理子 善方康真  
石田圭二 阿波野ゆう子 花上 学 池野 系



平成 27 年 11 月 11 日町田市広報

平成 27 年 8 月 8 日武相新聞

## 編集後記

公益社団法人 町田市シルバー人材センター設立 35 周年記念誌発刊のまとめ役を仰せつかり、不慣れで関係者の皆様には大変ご迷惑をお掛け致しましたが、こうしてお手元にお届けすることが出来ましたこと大変嬉しく思っています。

本文の中で、石坂市長をはじめ、お客様から謝辞をいただき、誠に有難く感謝申し上げる次第です。

また短い期間にも拘わらず、心のこもった原稿をお寄せいただきました会員の皆様、貴重な資料をご提供いただきました事務局の皆様には、ことのほか深謝の意を表させていただきます。

誠にありがとうございました。

編集にあたりましては 3 名の編集委員の方々が、身を粉にしてほとんどボランティア精神で携わっていただきましたこと感謝に堪えません。もし 40 周年記念誌編集に声が掛かるのであれば、今回と同じ方々と携わっていきたいという思いでいます。

(長谷川 記)

★編集委員 長谷川修治（委員長） 加藤武生 田平茂郎 堀井邦子

[裏表紙のエンブレム：全国シルバー人材センター連合会のキャラクター  
-----町田市的女性が応募され採用された作品です]





# 銀齡

## 設立 35 周年記念誌

(公益社団法人 5 周年)

発行日 平成 28 年 2 月

発行所 公益社団法人

町田市シルバー人材センター

〒194-0022 東京都町田市森野 1-1-15 わくわくプラザ内

編 集 設立 35 周年記念誌編集委員会